

朝酌地域人権教育推進協議会の活動につきましては、日頃からご協力、ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

令和四年度は、新型コロナウイルス感染症による自粛制限が多少とも緩和され、例年どおり市や県主催の研修会、講演会に参加し、各種人権に関する課題等について学習し理解を深めることができました。この中で「ヤングケアラー」の問題について島根大の宮本教授による以下の講演があり、子どもの人権問題を考えるうえで、地域、身近に生起する可能性大の課題として非常に参考になりました。ヤングケアラーの実情ですが、障がいや病気のある親や祖父など介護を必要とする家族がいる場合、自身がケア責任を引き受け家

事や介護等日常の世話をしている十八歳未満の子どもと定義され、近年その割合が増加傾向にあり、介護や世話に追われて自分の時間を確保することが困難で、特に中、高生は、時には入試や就職活動が重なり十分な睡眠、学習時間が取れなかったり、



朝酌地域人権教育推進協議会  
会長 神門眞澄

### 子どもの人権の現状

朝酌地域人権教育推進協議会

## 朝酌人推協だより

令和5年  
発行  
3月

学校を休みがちになったりすることで学業や人間関係に支障をきたす恐れが指摘されており、対応について考えていかなければならない問題です。

さて、人権侵害として増加傾向にある分野としてネットによる人権侵害をはじめとして、子ども、女性に對してのものがあげられますが、その中で特に世間的に関心をあつめたのが子どもに関する「児童虐待」で、大きな社会問題となっております。社会経済状況の変化により家庭や地域の子育て機能が低下し、本来、保護されるべき子どもに對し親等の保護者義務者が殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、火傷を負わせる、浴槽で溺れさせる等の身体的虐待、加えて乳幼児を家に残しての外出、食事を与えない、自動車の中に長時間放置する等のネグレクト（育児放棄）、最近では、通常では考えられない保育施設における



設における保育士等による園児に對する種々の虐待が新聞報道やテレビ等で報じられております。これらの事態は、子どもは、子どもの心身の成長と人格形成に深刻な影響を与える重大な権利侵害であり、社会全体でその防止を図らなければなりません。

朝酌地域人権教育推進協議会としましては、ますます多様化、複雑化していく人権問題を身近な問題と考え、人権学習を深め、互いが人権を意識を高め、尊重し合う町づくりを目標として多少ともお役に立てるよう、取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



## 朝酌公民館運営協議会運営委員人権研修

講師：臨濟宗南禅寺派 禅定寺 住職 深貝恭悦さん（朝酌在住）

1月18日（水）に「仏教からの人権問題を考える～人生経験からの人権問題～」と題し、講演していただきました。

本山での修行や依存症療養に携わってきたことなど、様々な視点からお話ししていただきました。

運営委員の深貝さんの実体験からのお話ということで、参加者のみなさんも興味を持ちながら、人権を考える機会になったように思います。



また、修行とは別の視点から身近な人権問題として、メダカ・昆虫の容姿のお話しもしていただきました。



つつい綺麗なものばかり注目してしましますが、それぞれ個性があり、命があることを改めて考えさせられました。

公民館でも深貝さんにいただいたメダカを育てています。みんなそれぞれ個性があり、可愛いです。



こちらは普段は日本本土に生息していない迷蝶「リュウキュウムラサキ」なんと朝酌で発見されたそうです！

このように人権にかかわることは多岐に渡っています。人権問題はまず“知る”ことが大切です。今後も公民館では研修を行っていきますので、ぜひご参加ください。





十月二十日、朝酌公民館事業の人権教育視察研修に、少々大袈裟ではあるが胸を躍らせながら参加した。私が横田高等学校に勤務していた頃、その通勤途中に端正な建物がいつも目に入ってきた。「何だろう?」加

### 人権教育視察研修に参加して

松浦辰彦

納美術館?こんな所に美術館?」通るたびにそう思い、気になっていた。今日その謎が解けるからである。懐かしい景色に思いをはせながら一時間弱。バスは目的地加納美術館に着いた。ここが何故、人権教育と関係があるのか、それも関心があった。

加納美術館は、画家 加納莞菴(本名辰夫)の作品を主に展示した所であり、一九九六年、息子の加納博基氏が地域文化発展を願い、私立美術館として莞菴の生誕地であるここ広瀬町布部に開設した。加納佳世子(莞菴の実の娘)現名誉館長の熱のこもった説明を拝聴した。画家 加納莞菴は戦後、フィリピン戦犯釈放運動に尽力し、知人の戦犯助命嘆願を始め恒久平和実現に向けて活動した人物だった。その為、県内外から人権教育の研修に来館さ



る団体も多いと聞いた。折しも美術館では土門 拳の写真展も開催されていた。

その後はお楽しみ昼食タイムで清水寺に向かった。清水寺の駐車場からまた迎えのワゴン車が来て、清水寺初めての試みであったが裏口門から峻しい道を入っていった。私自身三度目、紅葉館の精進料理をいただき、お参りした後お土産を買って戻ってきた。中身の濃い内容のある研修に感謝した。大変お世話になりました。ありがとうございました。



### 朝酌小学校

## 人権教育の取組紹介

朝酌小学校で取り組んでいる様々な人権教育活動の中から人権旬間の取組の様子を紹介いたします。



人権集会



人権教育授業公開

### 五、六年生の人権標語の紹介

#### 六年生

その言葉 心の中で いったんストップ  
おはようございます そのことばで がんばれる  
自分から 相手の気持ち 考えよう  
やめようよ そのことば 自分が言われて 傷つかない?  
ありがとう その一言で 笑顔広がる  
ぼうげん ぼうりょくを やめよう  
あいさつは 人を元気にする あいことば  
「大丈夫?」 困っている子に 声かけよう  
やらないで 人が傷つく 仲間外れ  
ありがとう その一言で 「やってよかった」と思えるよ  
楽しもう 悲しんでいる人にも 声かけて

#### 五年生

あいさつは 笑顔を作る まほうの言葉  
あいさつは 大きな声で はっきりと  
あたりまえ 自分と友達 ちがうもの  
あいさつは 人とをつなぐ 合言葉  
悪口は 人をきずつける言葉だよ  
ありがとう みんなを笑顔にする ま法の言葉  
いやなこと 人によって ちがうんだ  
おはよう 聞こえてきたら 思わずにつこり 「おはよう」



全校遊び



やめようよ 相手の笑顔 消す前に  
考えよう 相手の気持ち 一番に  
あいさつは 人を元気にさせる言葉  
ありがとう 関わってくれた人に 感謝  
「ありがとう」「ごめんね」  
ちやんと言えたら にじゅうまる  
あそぼうよ この言葉で 友達が増えてゆく  
みとめあおう ありのままの 自分たち  
人の意見を 尊重しよう  
その言葉 いったんためて 考えよう  
守ろうよ ぼくたちの人権 ぼくたちの未来  
ありがとう 心をつなぐ まほうの言葉